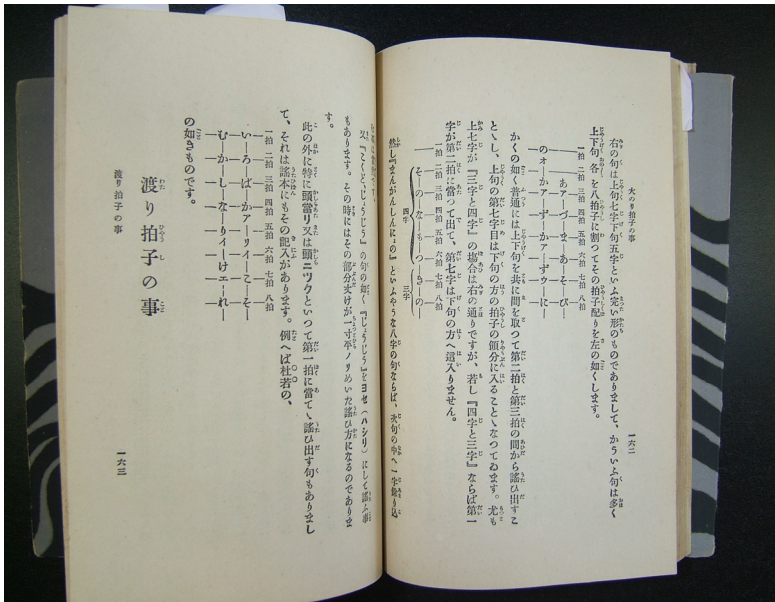
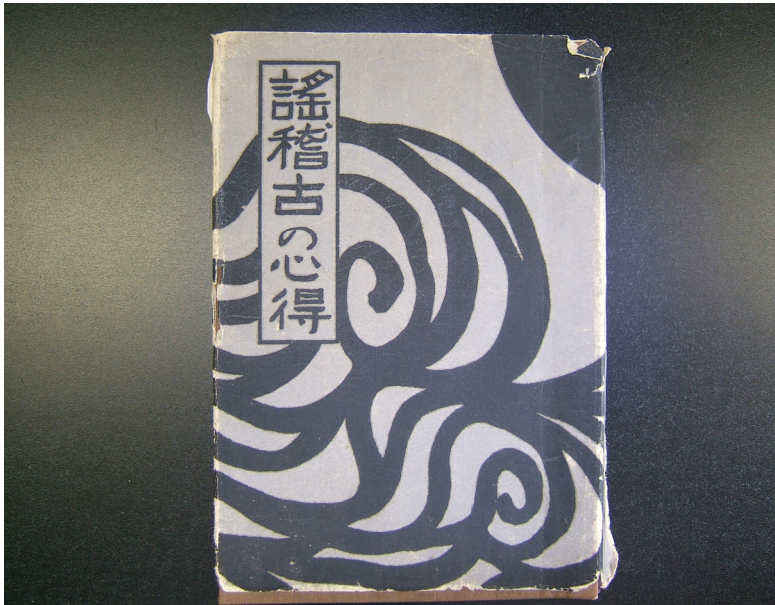


坂元雪鳥 『謡稽古の心得』

素人用の概説書である。師匠、流儀の選び方から詳しく説く画期的な書。一四四頁以降、約三十頁にわたって、拍子についての説明。「拍子にかかぬ謡、拍子にかかぬ謡、のる謡、のらぬ謡」という節の名からわかるとおり、「拍子合」と「のる」とは別の概念として説明されている。解説はさらに「平のり、中のり、大のり」と進む。写真下に示すような、八拍子を示す線に合わせて仮名を配置するフォーマットは、この頃に、ようやく一般化したようにみえる。



標題 内題…謡稽古の心得

標題紙…謡稽古の心得

奥附…謡稽古の心得

その他…謡稽古の心得(巻末・題簽)

著者 奥附…坂元雪鳥

その他の場所…坂元雪鳥(標題紙・序・

巻頭)

出版 版次…第二版

出版地…東京

出版社…能楽発行所・磯部甲陽堂

出版年…大正4(1915)

その他の場所…序 大正4(1915)

形態 冊数…一冊 頁数…二八四頁

寸法…18×13(cm)

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考